宮城県気仙沼市が掛金補助実施へ
～猛威をふるう自然災害に「ぎょさい」～

先月号でもお伝えしましたとおり、年末年始は非常に強い勢力をもった寒波の影響により広い地域で天候が荒れ、大雪や暴風により日本各地で漁船や漁業施設、養殖業の被害が発生しました。鳥取県・島根県では記録的な大雪により、雪の重みで漁船が転覆・沈没する被害が発生しました。東北地方では暴風により養殖業の延縄・いかだ施設が流失したり、定置網が損壊するといった被害が発生し、その被害額は岩手県でわかめ・こんぶなどの養殖生産物および養殖施設、定置網で約 47 億円、宮城県ではのり養殖施設など約 2 億 8 千万円にのぼると報じられています。共済団体も速やかに共済金の支払ができるよう事務を進めているところでございます。

こうした大型の低気圧や昨年２月末のチリ地震津波など自然災害による被害を度々受けてきた宮城県気仙沼市では、平成 23 年度より「ぎょさい」への加入促進に向けた掛金補助を検討しています。わかめ・ほたて養殖業などを対象とする特定養殖共済と、いかだや定置網が対象となる漁業施設共済の加入者を対象に掛金の５％を補助するもので、市内の延べ 10,171 経営体が対象になると見込まれています。気仙沼市では目標とする加入率 75%の掛金総額が 5,100 万円となることから、このうちの５％分の 255 万円を新年度予算に計上する予定です。市水産課のコメントとして「チリ地震津波被害では漁業共済の加入、未加入で大きな差が出ており、掛金補助で加入促進を呼び掛けたい。災害などに対する前向きな自助の意識づけにつながれば」（平成 23 年 2 月 3 日：三陸新報一面より）と報じられています。

今回の気仙沼市のようにこれまでも多くの地方公共団体等に「ぎょさい」加入促進にご協力を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。自然災害に備えるセーフティネットとしての「ぎょさい」をなお一層活用頂けますよう、「ぎょさい」の普及拡大に向けて全力で取り組んでまいりますので、地方公共団体をはじめ、関係各位におかれましては、今まで以上のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

漁業共済
掛け金補助を検討
当初予算に関連費用
気仙沼市 23年度 加入率は県内最低レベル
国と合わせて最大8割免除
三陸新報

＜２月３日　三陸新報＞